

APPENDIX

# 參考資料編



- 1 八幡東田まちづくり連絡協議会、八幡東田未来共創会議等の概要 . . . . . P01
  - ▶1 「八幡東田まちづくり連絡協議会」の概要・会員一覧
  - ▶2 八幡東田未来共創会議委員リスト
  - ▶3 専門人材・ワークショップ・勉強会講師一覧
- 2 都市再生整備計画（東田地区 R6年） . . . . . P05
  - ▶1 都市再生整備計画 東田地区（第3回変更）
  - ▶2 目標及び計画期間
  - ▶3 整備方針等
  - ▶4 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項
  - ▶5 都市再生整備計画の区域
  - ▶6 整備方針概要図
- 3 アクションプログラム（補足版） . . . . . P12
  - ▶1 「鉄と花のまちづくり」ローズガーデンプロジェクト
  - ▶2 データ駆動型まちづくりに向けた群流データ基盤構築
  - ▶3 3D都市モデルを活用したエリアマネジメント
  - ▶4 スマート&サステイナブル・モビリティ特区

1

八幡東田まちづくり連絡協議会、  
八幡東田未来共創会議等の概要



## 「八幡東田まちづくり連絡協議会」の概要

1. 設立：2000年（平成12年）7月（発足時会員数 26社（団体））
2. 目的：八幡東田地区およびその周辺地域に立地する企業・団体ならびに自治体等との連携を密にし、産官学民の連携による持続可能なまちづくりの推進と地域価値の向上への貢献を図り、もってこの東田のまちの総合的な発展に寄与することを目的とする。（2022年改正規約より）
3. 役員：
  - 会長 網岡 健司（特定非営利活動法人里山を考える会 理事）
  - 副会長 矢山 壮太（日鉄興和不動産株式会社 九州支店長）
  - 理事 月成 幸治（北九州市市民文化スポーツ局 自然史・歴史博物館 副館長）
  - 理事 北里 勝利（公益財団法人北九州産業学術推進機構 専務理事）
  - 理事 土屋 敦（イオンモール株式会社 イオンモール八幡東ゼネラルマネージャー）
  - 理事 奥野 徳次郎（セイコーエプソン株式会社北九州オフィス部長）
  - 監事 高嶋 博義（帆柱タクシー株式会社 取締役）
  - 顧問 喜洲 淳哉（八幡東区長）
  - 事務局長 吉田 光宏（株式会社日鉄コミュニティ 九州支店）
4. 会員数：74社（団体） [令和6年4月現在]
5. 主な活動：
  - 総会（1回/年）、理事会（1～2回/年）
  - （交流活動）夏の交流会、秋の交流会、新年賀詞交歓会など
  - （まちづくり）地域清掃活動（「社長公認“堂々ごみ拾い”」）
  - （2回/年）、献血（2回/年）、駅前花植え活動、キッチンカーによる昼食提供など
  - （協力・支援）地域行事、関連事業（ミュージアムパーク創造事業、社会実証等）への参加協力

## 八幡東田まちづくり連絡協議会会員（2024年4月現在）

業種	企業名
行政	北九州市
公益事業関連	公益社団法人北九州産業学術推進機構
都市開発関連	イオンモール(株) 九州旅客鉄道(株) 日鉄興和不動産(株)九州支店 (株)日鉄コミュニティ日本製鉄(株)九州製鉄所 八幡駅前開発(株) (一社)八幡東田エリアマネジメント
市民団体	NPO法人里山を考える会
商業・サービス	青山商事(株)八幡東店 (株)あきんどスシロー八幡東田店 (株)アメイズHOTELAZ北九州八幡店 イオンリテール(株) (株)イムス (株)ENEOSフロンティア福岡カンパニー 北九州キッチンカー実行委員会 ジ アウトレット北九州 (株)タカミヤ（メガフィールドポイント八幡本店） (株)ナフコ ホームプラザナフコ八幡東店 (株)ベスト電器八幡本店 (株)ホンダカーズ博多八幡東店 (株)ミスターマックス 八幡東店 (株)創裕（シーサイドスパ） 日乃出食品(株) 北九州市科学館（スペースLABO） (株)コジマ コジマ×ビックカメラ八幡店 北九州環境ミュージアム（タカミヤ・里山・エクス共同事業体）
産業・業務	(株)アドバンテスト北九州R&Dセンタ (株)アドバンテスト九州システムズ (株)有菌製作所 (株)インターリンク (株)インフォメックス (株)エクス都市研究所 エプソン販売(株) (株)おのみち設計技術 (株)キシヤ北九州支店 九州製紙(株) (株)協和エクシオ 工藤産業(株) (株)コンピュータサイエンス研究所 山九(株)九州エリア統括部 (株)ジェイコム九州正晃(株)北九州営業所 セイコーエプソン(株) ソフトバンク(株) (株)ソルネット 筑豊金網(株) TIG(株) 東邦チタニウム(株)北九州事業所 豊田合成九州(株) 長田広告(株)北九州営業 所 日鉄エンジニアリング(株) 日鉄ソリューションズ(株)九州支社 日鉄テックスエンジ(株) (株)ベルシステム24 (株)ミズカミ 八幡板金工業(株) LINEヤフー(株)（アジア・フロンティア） (株)山本工作所 吉川工業(株) (株)ギラヴァンツ北九州 ミシマOAシステム(株)
交通	皿倉登山鉄道(株) 帆柱タクシー(株)
医療・福祉	(一財)西日本産業衛生会 北九州市獣医師会(株) ソフトサービスライフケア (株)ニチイ学館ニチイケアセンター東田 社会福祉法人愛香会東田愛香苑 メディカルフィットネス スマート×スマート ワタキューセイモア(株)北九州営業所
金融	九州日本信販(株) 九州労働金庫 福岡ひびき信用金庫

## 八幡東田未来共創会議委員リスト(R6年度)

		所属団体等	役職	氏名	役割・属性等
1	顧問	東京大学	教授（副学長）	出口 敦	有識者
2	顧問	エヌ・アット・エー(株)	代表	南條 史生	有識者
3	座長	北九州市立大学	教授（副学長）	内田 晃	有識者
4	委員	北九州市立大学	教授	小林 敏樹	有識者
5	委員	西日本工業大学	准教授	長 聡子	有識者
6	委員	日本都市計画家協会	常務理事	牧 敦司	有識者
7	委員	日本都市計画家協会	会員	片田江 由佳	有識者
8	委員	八幡東区自治総連合会	会長	畠中 聡之	地域団体
9	委員	八幡東区まちづくり協議会連合会	会長	伊藤 一義	地域団体
10	委員	八幡夢みらい協議会	幹事長	岡橋 正之	地域団体
11	委員	北九州商工会議所	八幡サービスセンター	實松 秀男	商工団体
12	委員	北九州市（八幡東区）	区長	喜洲 淳哉	顧問・行政
13	委員	日本製鉄(株)九州製鉄所	総務部長	吉村 公登	地権者・製造業
14	委員	九州旅客鉄道(株)	経営企画部部長	神崎 諭	地権者・交通事業者
15	委員	八幡駅前開発(株)	社長	井上 龍子	地域・近隣団体
16	委員	NPO法人里山を考える会	理事	網岡 健司	理事（会長）
17	委員	日鉄興和不動産(株)	北九州事業所長	矢山 壮太	理事（副会長）
18	委員	北九州市（いのちのたび博物館）	副館長	月成 幸治	理事・行政
19	委員	イオンモール(株)（イオンモール八幡東）	ゼネラルマネージャー	土屋 敦	理事・商業事業者
20	委員	（公財）北九州産業学術推進機構	専務理事	北里 勝利	理事・産学連携
21	委員	セイコーエプソン(株)北九州オフィス	部長	奥野 徳次郎	理事・IT製造業
22	委員	（一社）八幡東田エリアマネジメント	副代表理事	吉川 浩司	都市再生推進法人

(\*有識者、地域・商工団体代表委員を除き「八幡東田まちづくり連絡協議会」会員にて構成)

## 専門人材リスト

専門人材		
①	氏名	出口 敦
	所属・役職	東京大学大学院新領域創成科学研究科・教授（副学長）
	専門分野	都市計画学・建築デザイン学
②	氏名	南條 史生
	所属・役職	エヌ・アント・エ(株)代表 アーツ前橋特別館長、森美術館特別顧問
	専門分野	現代美術、パブリックアート
③	氏名	内田 晃
	所属・役職	北九州市立大学地域創生学群・教授（副学長）
	専門分野	都市計画、地域住宅計画
④	氏名	小林 敏樹
	所属・役職	北九州市立大学地域創生学群・教授
	専門分野	都市計画、まちづくり、リアリズム
⑤	氏名	長 聡子
	所属・役職	西日本工業大学デザイン学部建築学科・准教授
	専門分野	都市計画、まちづくり、リアリズム
⑥	氏名	牧 敦司
	所属・役職	NPO日本都市計画家協会・常務理事 株式会社醇建築まちづくり研究所代表
	専門分野	地方都市計画、住宅地計画、住宅地マネジメント、建築計画
⑦	氏名	片田江 由佳
	所属・役職	NPO日本都市計画家協会・会員 MINGLE design lab・代表
	専門分野	都市・地域経営、公共空間活用

## ワークショップ・勉強会講師一覧

講師		
2024/2/14 勉強会	氏名	三牧 浩也
	所属・役職	柏の葉アーバンデザインセンター 副センター長
	専門分野	
	講演内容	「柏の葉におけるUDCKを中核としたまちづくり、スマートシティへの取組」
2024/2/14 勉強会	氏名	尾崎 信
	所属・役職	東京大学大学院新領域創成科学研究科 特任研究員
	専門分野	
	講演内容	「気仙沼まちなかエリプラにおけるエリアビジョン策定と社会実験の展開」
2024/8/1 2024/11/20 八幡東田 未来共創ビ ジョン ワーク ショップ	氏名	田坂 逸朗
	所属・役職	一般社団法人 地域価値共創センター センター長
	専門分野	組織開発、まちづくり
	ファシリテーター内容	八幡東田地区の将来像、未来ビジョンについて共に考える（8/1） 八幡東田地区の未来に向けたアクションについて共に考えよう（11/20）
2024/12/9 グリーンイン フラ 勉強会	氏名	福岡 孝則
	所属・役職	東京農業大学 地域環境科学部 造園科学科 教授
	専門分野	ランドエスケープデザイン
	講演内容	グリーンインフラを活かしたまちづくり

2

都市再生整備計画（東田地区 R5年）



# 都市再生整備計画

ひがしだ  
東田地区(第3回変更)

ふくおか 福岡県 きたきゅうしゅう 北九州市

令和6年12月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□



都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都市庁舎名	福岡県	市町村名	北九州市	地区名	東区地区	面積	137	ha
計画期間	令和 3 年度 → 令和 7 年度	交付期間	令和 3 年度 → 令和 7 年度					

**目標**  
 大目標 集客拠点に相応しく、来訪者に魅力的な都市環境の形成  
 目標1 観光施設、教育・文化施設、大規模商業施設などが集積する集客拠点の中心に相応しいゲート空間の形成  
 目標2 施設を囲んで広がりとなる公共空間の形成

**目標設定の根拠**  
 都市全体の再編方針(都市圏部の区域区分)の定める都市圏部の再編方針(再編区域)の定める方針  
 文化・観光施設等が集積する当該地区では、現在(平成30年度から5年度で「東区ニューシニアム」(再開発事業)による文化施設を推進しており、2032年春には、新たに新科学館や大型商業施設がオープン予定で、さらなる地区来訪者の増大が見込まれる。これを機に官民が連携し公共空間の魅力を高めるとともに、居心地よく多岐にわたる環境を整備し、観光交流拠点の中心に相応しい魅力ある都市環境の形成を推進する。

**まちづくりの経緯及び概況**  
 【まちづくりの経緯】  
 ・明治34年の官営八幡製鉄所(現日本製鉄所)の完成後、関連工場などの立地を伴って我が国の近代産業を支えた北九州地域の「工業都市」の中核となる。  
 ・産業構造転換の形勢にて製鉄所の跡地にアミューズメント施設スペースワールドが平成2年に開業。  
 ・科学・歴史・産業・自然・環境に関する博物館を整備する「SINSEI構想」が平成5年に策定され、博物館群が整備される。  
 ・東区地区広域再開発事業によって当該地区の土地利用転換がなされ、博物館群の整備や駅前が整備される。  
 ・スマートコミュニティ創造事業、水産社会実験など、先端技術のまちづくりを推進している。  
 【概況】  
 ・平成28年9月策定の「北九州市立地適正化計画」にて都市機能集積区域に指定される。  
 ・平成27年11月に開業する官営八幡製鉄所製鉄施設が世界遺産(近代日本の産業革命遺産製鉄・製鋼、造船、石炭産業)に登録される。  
 ・平成30年3月に決定の「都市計画マスタープラン」にて「地域拠点」「次世代産業拠点」「観光交流拠点」に位置づけられる。  
 ・大分県「地域の美術・歴史博物館を核としたクラスター創生事業」の採択を受け、いものたけ博物館を中心として東区地区とその周辺地域の施設(連携し、地域の活性化やインバウンドの取り込みにつながる事業を実施。  
 ・旧スペースワールド跡地(平成29年12月閉鎖)において、民間事業者による大型商業施設が令和4年春に開業する予定。また、同施設エリア内に新科学館(仮)が新設される予定。

**課題**  
 ・市内から人を呼び込む「集客拠点」の付加価値を高めるため、集積する各施設の異なる魅力向上とともに、地区全体の魅力向上を図る必要がある。  
 ・旧スペースワールド跡地跡地及び駅前広場は、地区のゲート空間としての魅力向上を図る必要がある。  
 ・文化施設群と大型商業施設とは業務を通りて分散され施設間連携が弱いため、各施設をつなぐ居心地よく多岐にわたる公共空間の形成が必要である。

**関連計画(主要)**  
 ・「北九州基本構想・基本計画」(令和4年2月策定)  
 歴史ある製鉄関連などの企業や先端産業が集積する東区地区と周辺地区などの付加価値を高めて新たなビジネスの創出に貢献し、ともに発展するまちづくりを推進する。  
 ・都市計画マスタープラン(平成19年11月策定・平成30年3月改訂)  
 【地域拠点】  
 ・世界の環境首都に相応しい先進モデル地区としてのまちづくりを進める。  
 【観光交流拠点】  
 ・都市の産業が融合し、博物館等観光資源を生かした、多くの人が楽しみ、学ぶことができるまちづくりを進める。  
 ・観光資源や教育・文化施設などの質を高め、ビクターズインダストリー(兼産業)の中核として多くの人が訪れるまちをつくる。

**都市構造再編集中支援事業の計画**  
 (都市機能集積の推進)  
 ・本計画は、「都市計画マスタープラン」において、相対的に人口や産業の密度や買物の利便性が高く、都市圏部や公共施設などが充実する公共交通の利便性の高い区域を「新なか」(＝居住誘導区域)とし、そのうち本市の中核として高次の都市機能の集積・維持・向上を図る地域を「地域拠点」と位置づけている。  
 ・「立地適正化計画」では、本市の人口が減少基調にあることから、既に都市圏部や人口が集積している拠点やその周辺の交通利便性の高い既存市街地においてその集積の維持向上を進め、集約型の都市構造の形成を図ることとし、都市計画マスタープランに定める地域拠点を都市機能集積区域に設定している。  
 ・都市機能集積区域では、高次の都市機能を誘導し、商業施設等不特定多数の人が利用する大規模商業施設の立地誘導を図る。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

**目標定量化する指標**

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	基期値	基準年度	目標値	目標年度
東区地区の観光客数	人/年	東区地区における観光客数	【目標1】交流人口増加、賑わい創出、拠点の魅力向上等を把握	127,600	※1	2,000,000	※7
東区地区来訪者の平均滞在時間	h/人	東区地区の来訪者の平均滞在時間	【目標1】交流人口増加、賑わい創出、拠点の魅力向上等を把握	1.2	※1	1.8	※7
歩行者通行量	人/日	東区地区の主要地点における歩行者通行量	【目標1】交流人口増加、賑わい創出、拠点の魅力向上等を把握	11,356	※2	13,000	※7

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【魅力あるゲート空間の形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化施設等を訪れるファミリーなど来訪者をワクワクさせる演出があるゲート空間の創出</li> <li>新科学館の科学実験など文化施設群のアクティビティも実施可能な、来訪者が憩い楽しむことができるオープンスペースを確保</li> <li>駅前ゲート空間とまちの繋がりを強化</li> </ul>	<p>方針に合致する主要な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■【基幹事業/高質空間形成施設】スペースワールド駅前広場魅力向上事業</li> <li>■【基幹事業/高質空間形成施設】新科学館周辺景観整備事業</li> <li>■【基幹事業/高質空間形成施設】いのちのたび博物館周辺公共空間再編事業</li> <li>■【基幹事業/高質空間形成施設】スペースワールド駅周辺EV・ES改修事業</li> <li>□【提案事業】事業効果分析業務</li> <li>□【提案事業】憩い空間創出実証実験</li> <li>○【関連事業】(仮称)八幡東田プロジェクト</li> <li>○【関連事業】新科学館整備事業</li> <li>○【関連事業】東田ミュージアムパーク創造事業</li> </ul>
<p>【居心地がよく歩きたくなる公共空間づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東田大通り公園の魅力向上(憩いのある都市緑地の創出と、歩いて回りたくなる回遊核となる文化ゾーンと商業ゾーンを繋ぐ公共空間の創出)</li> <li>エリア全体の回遊性向上(来訪者に分かりやすく、歩いて回りたくなるサイン(情報発信ツール)を整備)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■【基幹事業/公園】東田大通り公園整備事業</li> <li>■【基幹事業/地域生活基盤施設】ミュージアムパーク創造事業関連サイン整備事業</li> <li>○【関連事業】グリーンスローモビリティ事業</li> </ul>
<p>その他</p>	
<p>【官民連携事業】</p> <p>東田ミュージアムパーク創造事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>官民の関係者からなる「東田ミュージアムパーク実行委員会」を組織し、自然史・歴史博物館を中核に、地区内の文化施設等を連携させ、新たな魅力づくりやPRなどを予定している。</li> </ul> <p>【北九州市立地適正化計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北九州市立地適正化計画において、東田地区は都市機能誘導区域に設定され、新旧の産業が融合し、博物館等観光資源を生かした多くの人が楽しみ、学ぶことができるまちづくりを目指している。</li> </ul>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	546.5	交付限度額	273.3	国費率	0.5
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	〔参考〕事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官費部分	うち民費部分	交付対象事業費	費用便益比B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路															
公園		東田大通り公園整備事業	北九州市	直	1,92ha	4	7	4	7	190.0	190.0	190.0		190.0	
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		ミュージアムパーク製造事業推進サイン整備事業	北九州市	直	—	3	3	3	3	10.0	10.0	10.0		10.0	
高質空間形成施設		スペースワールド駅前広場魅力向上事業	北九州市	直	4,000㎡	3	3	3	3	52.6	52.6	52.6		52.6	
		新科学館周辺景観整備事業	北九州市	直	100m	3	3	3	3	5.0	5.0	5.0		5.0	
		いのちのたび博物館周辺公共空間再編事業	北九州市	直	2,000㎡	4	6	4	6	3.2	3.2	3.2		3.2	
		スペースワールド駅前EV-ES改修事業	北九州市	直	6基	4	6	4	7	268.6	268.6	268.6		268.6	
高次都市施設															
		観光交流センター													
		まちおこしセンター													
		子育て世代活動支援センター													
		複合交通センター													
誘導施設															
		医療施設													
		社会福祉施設													
		教育文化施設													
		子育て支援施設													
既存建築物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都市共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										529.4	529.4	529.4	0.0	529.4	

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	〔参考〕事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官費部分	うち民費部分	交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造支援事業															
事業活用調査	事業効果分析	事業効果分析業務委託	北九州市	直	—	3	7	3	7	7.8	7.8	7.8		7.8	
	まちづくり活動推進事業	賑わい空間創出実証実験	北九州市	直	—	5	7	5	7	9.3	9.3	9.3		9.3	
合計										17.1	17.1	17.1	0.0	17.1	

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	〔いずれかに○〕				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
民間開発	(仮称)八幡東田プロジェクト	民間		27ha							
新科学館整備事業	新科学館整備事業		内閣府	5,470㎡		○	○		H30	R3	2,839
東田ミュージアムパーク製造事業	東田ミュージアムパーク製造事業	北九州市	文部科学省	—		○	○		H30	R7	4,165
グリーンズローモビリティ(周遊バス)事業	グリーンズローモビリティ(周遊バス)事業	民間		—				○			
合計											7,004

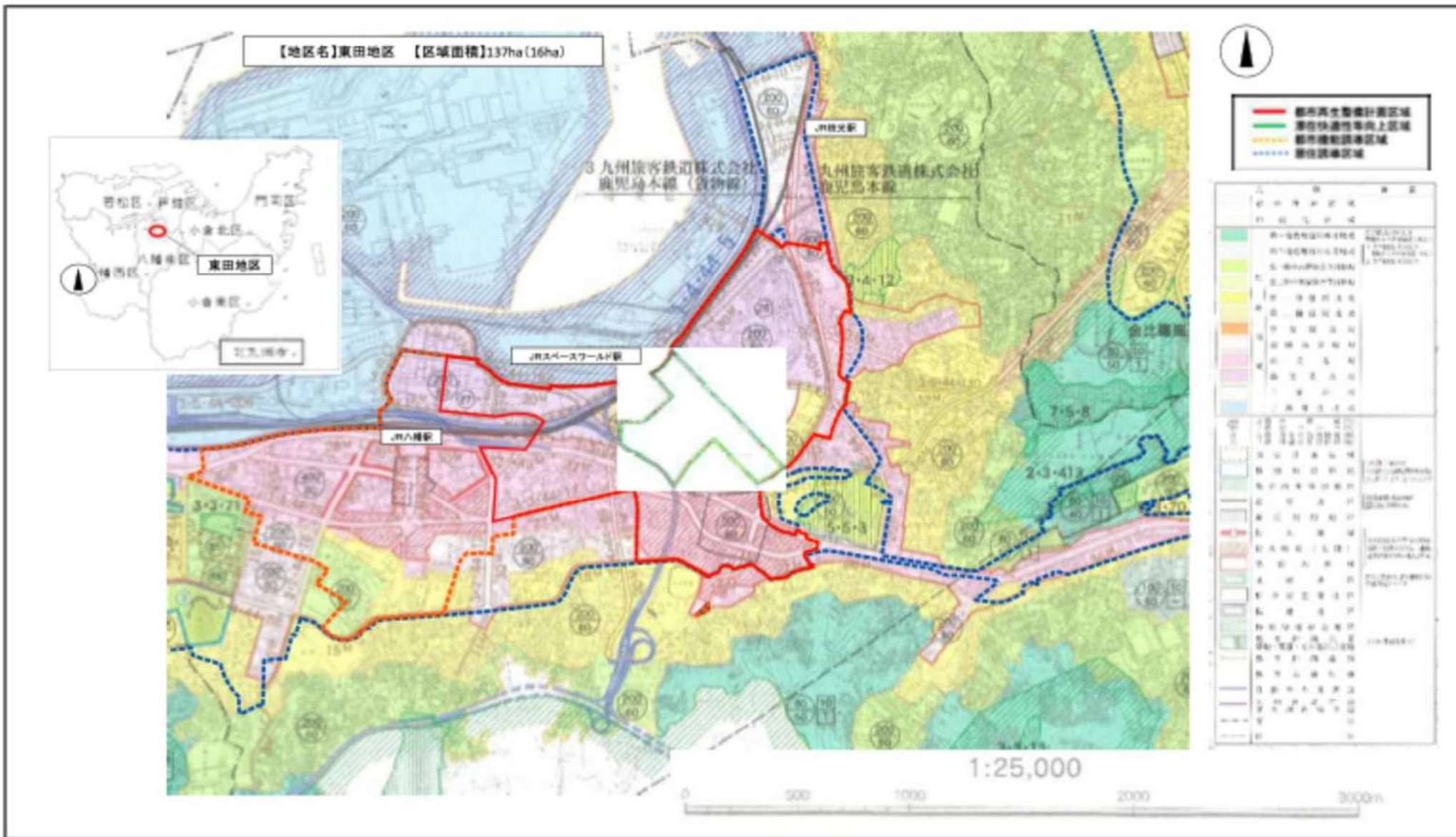
東田地区(福岡県北九州市)

面積

137  
(16) ha

区域

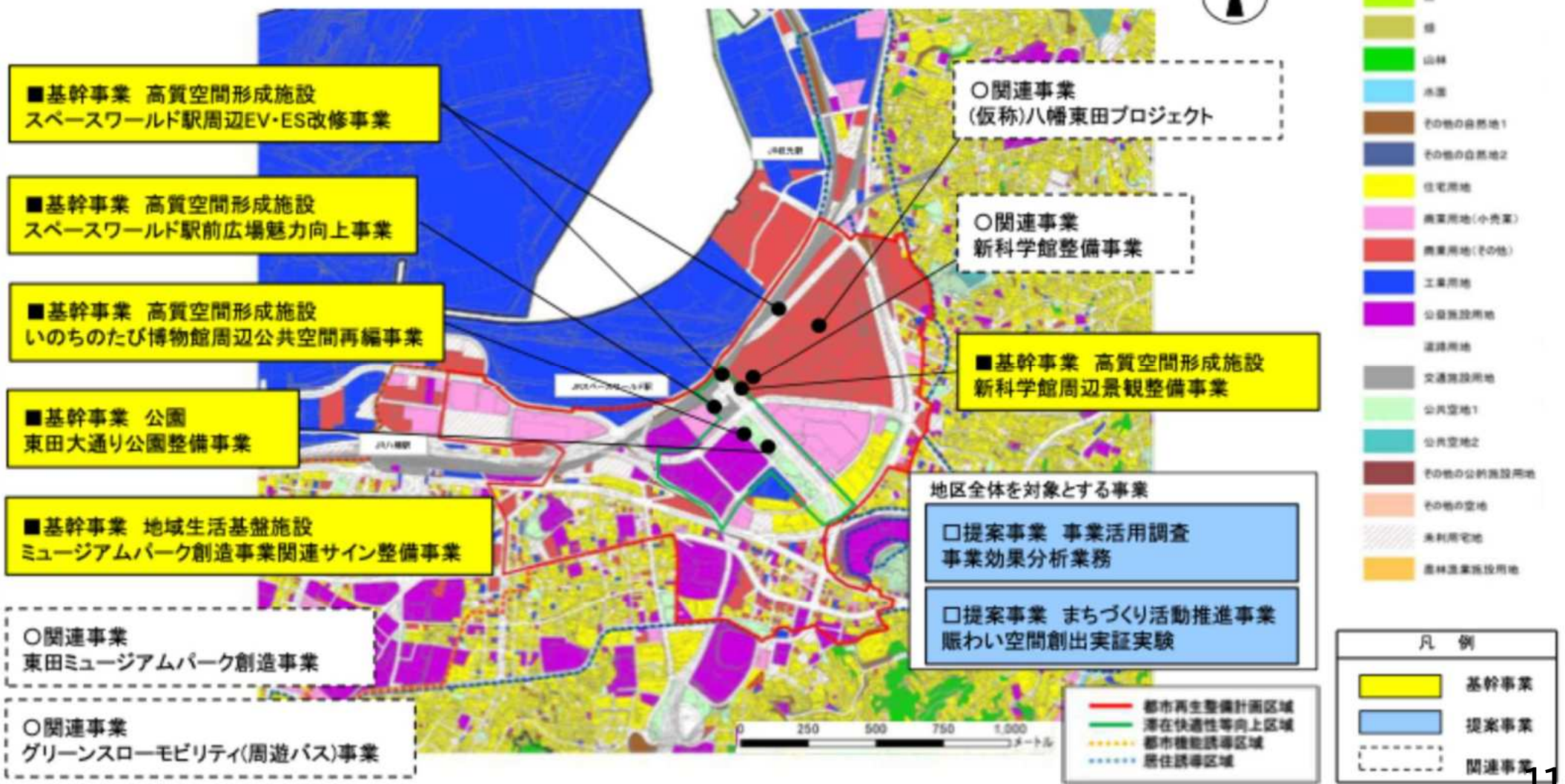
八幡東区東田二丁目、東田三丁目、東田四丁目、中央二丁目等



東田地区(福岡県北九州市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標 集客拠点に相応しく、来訪者に魅力的な都市環境の形成	代表的な指標	東田の観光客数 (人/年)	727,000	(R1年度)	→	2,000,000	(R7年度)
	目標1 観光施設、教育・文化施設、大規模商業施設などが集積する集客拠点の中核に相応しいゲート空間の形成		東田地区未訪者の平均滞在時間 (h/人)	1.2	(R1年度)	→	1.6	(R7年度)
	目標2 施設を歩いて回りたくなる公共空間の形成		歩行者通行量 (人/日)	11,356	(R2年度)	→	13,000	(R7年度)

【地区名】東田地区 【区域面積】137ha(16ha)



3

アクションプログラム（補足版）



## CHALLENGE PROJECT #00x

## ■ コンセプト

「薔薇」を通じて地域住民同士の交流や参加型イベントを増やし、温かなコミュニティを育てる。

・「薔薇」を通じて自然の豊かさを感じられる街として、一人一花運動を促し持続可能な環境づくりに貢献する。

ポイント：・地域の人々が薔薇の栽培やケアを通じて関わり合い、協力し合うプログラムを設ける。

子どもから大人まで幅広い世代が参加でき、地域全体で「薔薇のある暮らし」を共有することで愛着を深める。

・北九州市は、県内最大植栽数（3000株）の響灘緑地グリーンパークや、花農丘公園などの公園をはじめ工場敷地内の植栽など『薔薇の街』と定義できるほど薔薇の植栽が多い街。

## ■ アクション概要

「一人一花」運動と連携した活動を東田大通りを中心に行う

A：年間薔薇講座（東田ロザリアンメイト）の実施

概要：8月の猛暑月を除く、毎月1回薔薇のお手入れを学ぶ講座を実施（有料講座を想定）から

東田大通りに隣接した修景花壇を活用し、実際の薔薇に触れながら『薔薇のある暮らし』を取り入れるお手伝いを行います。

→テキストをもとに座学、東田大通り修景花壇にて実演と実習を実施。（雨天の場合は座学中心とする）

B. 薔薇に触れ合うこども食堂の実施

概要：子供たちに薔薇について知ってもらう。

再生紙を活用し環境に配慮した紙について知ることや、薔薇特有の棘の存在を知ることによって多様性に柔軟に対応できる姿勢を学ぶ

→年に1～2回こども食堂の機会に実施



## C：駅前エコプランター植栽

概要：駅前を薔薇で彩りを添えて、来街者をおもてなし  
→通常のプランターに加え、八幡ならではのドラム缶を利用した移動式花壇での植栽を検討、産業の街と緑豊かな街のイメージを訴求。

→ドラム缶には季節のイベントの案内や、商店街のPR、アートなどを防水ポスターやタペストリーで掲示。

→アクションプランAと連動して、講座の教材やボランティアでのお手入れを行う。

## ■ 実施主体・事業手法・スケジュール等

・実施主体：NOBLEROSEGARDEN.、八幡東田エリアマネジメント、八幡東田まちづくり連絡協議会、NPO、企業、造園家団体、大学、北九州市等）

・事業手法：民間主導事業として実施（公的支援策活用）

・スケジュール：R7年度より社会実験として試行、実装化を図る。

## PROJECT #001

## ■ 現況・課題

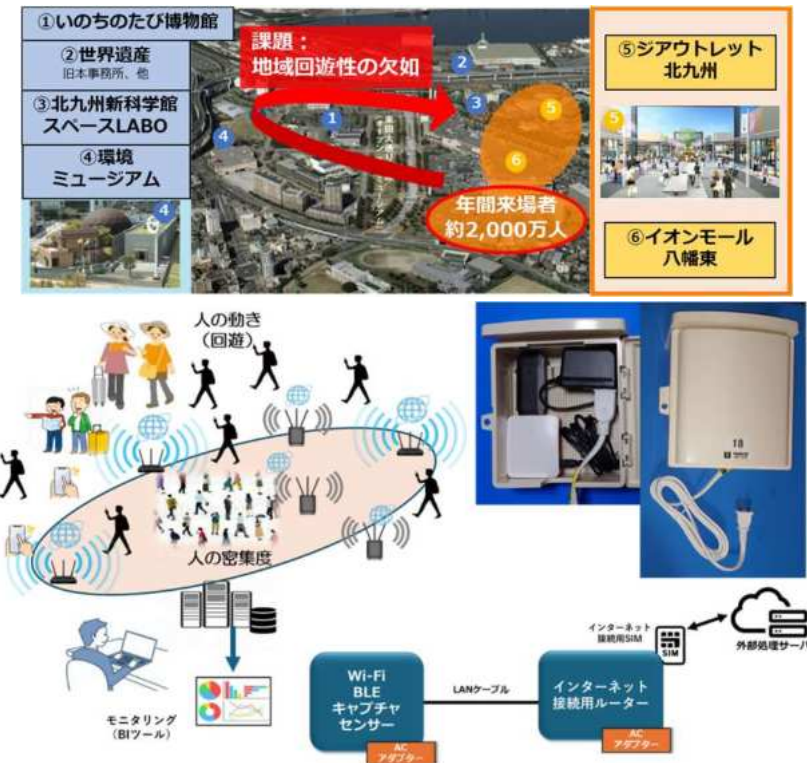
地域の回遊性欠如は、オーバーツーリズムや、滞在時間の縮小による地域消費額・宿泊機会の低下、地域ブランドの不確立など、様々な問題につながる全国的な社会課題である。このような課題は、八幡東田地区でも確認されており、大型商業施設とミュージアム群が混在しており、大型商業施設には年間約2,000万人の来街者が存在するものの、ミュージアム群への回遊は活発でないことが問題視されている。

## ■ アクション概要

地域の回遊性を向上させる新しいアプローチとして、データ駆動型まち歩き基盤の構築に挑戦する。実社会から得られる群流データや地域データ（地域のイベントや店舗・施設情報に関するデータ）に基づいたデータ解析結果を動的に処理し、リアルタイムに来街者の行動変容を促すデータ駆動型まち歩き基盤を開発し、社会実証を試みる。具体的には、フィールドからの群流データ収集、機械学習や生成AIによる地域回遊パターンの抽出・生成、データの分析結果に基づいた来街者への行動変容を促進するまち歩き基盤の構築、などを実践する。

## ■ アクション効果

本基盤を用いて、八幡東田地区で実証実験を行い、来街者の地域回遊率30%を達成させる。本基盤は、持続可能な地域産業推進を実現させ、SDGs目標9,11に貢献する。さらに本基盤は、多様な地域課題に応用可能であり、マーケティング支援や防災支援などへの展開も視野に入れつつ、社会実証を加速化させる。



## ■ 実施主体・事業手法・スケジュール等

- ・実施主体：  
実証プロジェクト推進コンソーシアム組成（R6年「八幡東田まちづくりDX研究会」（早稲田大学、エリアポータル、北九州産業学術推進機構、計測協力施設団体、八幡東田エリアマネジメント、八幡東田まちづくり連絡協議会、北九州市など）の改組または新設
- ・事業手法：研究開発助成、公的補助事業等の活用
- ・スケジュール：R7年度より助成事業等探索



## PROJECT #001

## ■ 現況・課題

- 従来エネルギーや資源として考えられているものを活用することは、すでに多くの取組がなされている。
- ただし、資源の乏しい我が国においては、そうした取組に加えて、現在はエネルギーや資源として価値を見出せていないものや、その可能性のあるものがどこに存在するかを可視化し、それに価値を付加して、その潜在的エネルギーを増やしていくことが重要である。

## ■ アクション概要

- 本事業では、こうした潜在的エネルギー源をより効果的・効率的に把握するため、都市ストックの直接観測システム（都市動態把握のための移動型観測システム）を開発する。
- また、観測によって見出した資源・エネルギー候補について、それが存在する時間、場所、環境情報の掛け算によって、実際上の利用価値の可視化、定量化を行う。
- さらに、脱炭素化や循環経済への移行等、様々な社会的ニーズに対応した3D都市モデル、及びそのユースケースを開発する。

## ■ アクション効果

- 波及効果として、各種製品や建築資材等の開発段階から、使用後の各種素材の易分解性や水平リサイクルを見据えた取組が進み、動静脈連携による循環経済への移行が加速する。
- また、限られた資源の中で、モノを長く大切に使い、使用後は再生利用を促進する考え方が一般的となり、市民や事業者の行動変容につながる。

1. 都市ストック観測  
(画像・点群)

2. AIによる物体検出

3. 都市ストックの質  
と量の評価4. 3D都市モデルで  
の可視化5. 上記の一連の流れ  
の社会実装

【左写真】  
バックパック型  
観測装置による  
点群データ取得

【下図】  
取得した点群  
データの色付け  
(東田地区周辺)



## ■ 実施主体・事業手法・スケジュール等

- 実施主体：国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学、(株)エックス都市研究所、(株)ジオ技術研究所
- 事業手法：北九州市「東田・未来都市プロジェクト」、名古屋大学COI-NEXT「変環共創拠点」と連携した都市ストック直接観測システム開発と、様々な社会的ニーズに対応したデータベースの利活用推進
- スケジュール（概要）：上図の1. 都市ストックの定期観測を継続する中で、2. 以降の取組を推進（一部着手済）

## PROJECT #001

## ■ 現況・課題

- ・東田地区は、北九州市の中心に位置する交通の要衝
- ・鉄道（JR鹿児島本線）、国道・市道、自専道等基幹交通ネットワークの結節点、駐車場も潤沢
- ・近距離（ラスト-halfマイル）移動の手段が乏しく、エリア回遊性不足の要因の一つと考えられている。

## ■ アクション概要

- ・これまで実施されてきたスローモビリティ走行実証実験等の継続による社会実装の可能性探索
- ・既存のレンタサイクルのポート適正配置、ネットワーク化あるいは駐輪場の屋根がけ等による自転車利用の促進
- ・自転車、スローモビリティの専用走行レーン整備や、快適性向上地域および周辺の車速規制（時速30km/h以下）などの基盤整備などを社会実験として試行。

## ■ アクション効果

- ・来街者の利便性、回遊性向上による集客力強化
- ・自転車等を含むグリーン・スローモビリティ優先の基盤・システム整備による持続可能な交通システムへの移行試行
- ・持続可能なまちづくりの「見える化」。



## ■ 実施主体・事業手法・スケジュール等

- ・実施主体：公民関係者による協議会、実行委員会等  
【構成員】モビリティ関連企業、大学等研究機関、交通事業者、集客施設事業者、大学等研究機関、行政、まちづくり団体、他
- ・事業手法：社会実験は公民の研究開発事業制度等活用
- ・スケジュール：R7年度以降も実証事業を継続しつつ実装化を検討する



未来を創る、世界を変える

<https://yahata-higashida.com>

